

国立大学法人 九州大学 行動計画

九州大学は平成 18 年度以降女性研究者向けの支援策等を順次実施し、女性の活躍促進に向けた環境を整備して来た。その結果、女性教員比率(及び人数)は平成 21 年の 8.8%(193 人) から平成 26 年の 12.7%(312 人)へと大幅に増加した。今後は女性教員のさらなる増加と高職位への登用の促進、および事務系職員の女性管理職の育成により、女性が活躍できる環境の整備を進めるため、意識啓発を中心に次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日

2. 本学の課題

- (1) 種々の支援策により女性教員は増加傾向にあるが、女性教員比率は国立大学全体の平均値(15%)よりも低く、教授・准教授における女性比率も 1 割に達していない。
- (2) 事務系職員の女性採用比率は 50%を超えているが、課長以上の管理職における女性比率が低い。

3. 目標と取組内容・実施時期

目標 1 : 女性教員比率を平成 26 年 12.7%から 15.0% 以上に増加させる。また職位毎の女性比率を教授は 5.1%から 7.0%に、准教授は 11.1%から 13.0%に増加させる。

<取組内容>

- 平成 28 年 4 月～ 女性の活躍促進に向けた意識啓発 F D の実施
- 平成 29 年 4 月～ 研究者カップルによるロールモデルセミナーの実施
- 平成 30 年 4 月～ 女性リーダーによるロールモデルセミナーの実施
- 平成 31 年 4 月～ 高職位を目指す女性教員のためのリーダー研修実施
- 平成 32 年 4 月～ 女性教授を中心とした研究プロジェクトの立ち上げ支援

目標 2 : 事務系職員における課長以上の女性管理職の人数を 20%増加させる。

<取組内容>

- 平成 28 年 4 月～ 職員向けステップアップ研修への女性の参加の推奨
- 平成 29 年 4 月～ 管理職を目指す女性事務職員の交流会の実施
- 平成 30 年 4 月～ 管理職を目指す女性を増やすための意識啓発 S D の実施
- 平成 31 年 4 月～ 女性幹部職員のロールモデルの紹介

以上